

あま咲きコイン事業について

あま咲きコインは、令和4年度の登録者数は104,495人、そのうち1pt以上使ったのは64,303人で登録者に対して利用者数は61%でした。また、令和5年度の登録者数は120,460人で、そのうち1pt以上使ったのは64,966人と、登録者数に対して利用者数は約54%となっております。登録者数と実際の利用者数には乖離があり、また利用者数は65,000人程度で頭打ちをしている状況にあります。年々登録者に対する利用者の割合は減少しておりますが、リピーターに繋がっている層と、離脱する層の分析をしっかりとすることが肝要です。

ここでお伺いします。

登録者数と利用者の乖離はなぜかどのように分析をしているのか。

そして、分析した結果から、令和7年度はどのようなことを対策として行っていくのか。

先ほども申し上げた通り、本市は45万人都市ですが、あま咲きコインの利用者は1年で65,000人程度であり、本市人口の約15%の方が利用しています。逆を言えば、人口の15%しか使っていない状況にもかかわらず、物価高騰対策として4億円(要確認)もの多額の予算を割くには妥当性がないのではないのでしょうか。

物価高騰は本市にお住いの全ての方に影響があります。あま咲きコインは、30~40代の女性と現役世代の利用者が多いとはいえ、現役世代でも使っていない割合のほうが多いのではないのでしょうか。利用者数が65,000人と頭打ちになっているなか、物価高騰対策として利用するには、不適切な事業であると思います。もしするのであれば、非常に高い人口カバー率を誇るペイペイ(スマホユーザーの2/3が利用)を活用することや、または水道代の減免など全世帯にいきわたる政策を打ち出すべきではないのでしょうか。

ここでお伺いします。

あま咲きコインのプレミアムキャンペーンは、本市人口の15%の市民と、一部の事業者のみにしかいきわたっておらず、物価高騰対策としては不適切と思うが、当局の御所見をお伺いします。

(意見)

あま咲きコインは持続可能性の低い事業であるにも関わらず、維持するために様々な理由をつけようとしています。アンケートを取るのであれば、アンケートを取る業者に委託をすればいいし、あま咲きコインで行う必要もありません。あま咲きコインを続けてきたから、維持するために新しい付加価値を無理やりつける本市の考え方は民間企業の思考とはかけ離れています。また、あま咲きコインのアンケートが高評価なのはいわば当たり前で、プレミアム分お金を配っていて低評価になるわけはありません。重要なのは、人口の15%しか利用していない地域通貨を維持する必要があるのかということだと考えます。あま咲きコイン事業を始めた当時の使い方から、たまたまコロナによる国庫支出金があるから維持できているだけで、このようなことがなければたたむべき事業です。再検討すべきと指摘をしておきます。

観光施策について

尼崎城の来場者数は、今年はタイガース 2 軍球場や中央公園リニューアル、大阪関西万博があり必ず増加すると考えられます。そのような中、昨年は VR シアターを 1000 万円程度(要確認)かけて更新し、今年は 3,000 万円もの多額の予算をかけて体験コンテンツを民間から提案を受けて実施するとのことでした。

ここでお伺いします。

VR シアターを多額の予算をかけた結果、経営改善に繋がる効果は定量的に出ましたか。また、主要事業であるこの 3,000 万円の投資は、何年で回収できると見込んでいるのか定量的に示してください。

そもそも今回の体験コンテンツの拡充は、アンケートの結果を参考にして決めたということだが、本来「尼崎城に行こうと思わない人」「いったことない人」「行ったけど 2 回目は行かない」という方からのアンケートを参考に、対策を練るべきだと考えます。また、尼崎城をどのような施設にしたいのかという本市のビジョンも不明瞭です。

地域住民とのタウンミーティングや、それこそ 3,000 万円という予算をマーケティングに強いコンサルタント(例 株式会社 刀)に依頼し、これから未来にとっての尼崎城の在り方を決めるべきではないでしょうか。

質問

尼崎城を本市はどのような歴史的な施設にしたいのか、アミューズメント施設にしたいのか。もし決まっていないのであれば、その在り方を決めることに予算を付けるべきだと思うが、御所見をお伺いします。

園田豊中線道路整備に合わせた駅前広場整備についてお伺いいたします。

阪急園田駅に接続する園田豊中線は、地元の方々と都市整備局道路整備担当との丁寧な協議を進めていただいています。広場に残っている建物の解体も終わりました。

お伺いいたします。

阪急園田駅に接続する園田豊中線の進捗状況をお聞かせください。

園田駅の仮広場では、地域の方々がイベント等に使うなど、賑わっています。いろんな意見や要望も聞いていると思います。

お伺いいたします。

近隣住民や広場の利用者の方々の意見や要望をお聞かせください。

また、防犯の観点から、防犯カメラの設置は必要だと思います、前回の一般質問で現在設置されているカメラを防犯カメラとしてそのまま残していただけないかと質問させていただきましたが、

今設置されているカメラは、防犯のためでなく広場の流動を観察し、より良い駅前広場に繋げていくために設置されています。と答弁いただきました。

お伺いいたします。

新しくリニューアルする駅前広場に、本市で防犯カメラの設置を検討していただけますか。

今まで通り、地元の方々と丁寧に協議を進めていただき、一日でも早い園田豊中線の開通と駅前広場の完成を要望いたします。

次に、園田西武庫線の整備についてお伺いいたします。

3月23日に御園工区が開通いたします。藻川工区も来年度に開通予定です。全線開通すると、大阪の内環状線に接続し兵庫から大阪北部を東西に通る新たなルートが完成します。江坂で新御堂筋と連絡するほか、吹田・茨木方面に向かうことも可能です。必ず交通量が増えます。人の流れも変わると思います。

お伺いいたします。

近隣住民から、安全性に対して心配の声がありますが、事業主体である兵庫県は、それらに対してどのような取組をするのでしょうか。

県道の新設改良事業には、尼宝線の阪急陸橋工事や阪神尼崎駅東側の産業道路の拡幅工事等があります。引き続き県と協議を進めていただき、近隣住民の意見や要望をしっかりと聞いて取り組んでいただくことを要望いたします。

雨水貯留管整備についてお伺いいたします。

発進立坑の場所を休日夜間急病診療所の跡地が候補地と聞いています。今までの経緯も踏まえて、住民説明会丁寧に行っていただきたいと思います。

お伺いいたします。

24 時間夜通し工事を進めるとお聞きしましたが、ダンプカー党車両の運行は、平日の昼間だけですよね。お考えをお聞かせください。

休日夜間急病診療所整備についてお伺いいたします。

現在、山手幹線沿いにある休日夜間急病診療所は、施設の老朽化に伴い今年の秋ごろに市役所第2駐車場へ移転建替えします。

休日夜間急病診療所とは、市内における休日夜間の1次救急を担う唯一の公的医療機関。

発熱や腹痛など、比較的軽い患者への対応。診察の結果、重症の場合には病院などの2次救急医療機関へ搬送とあります。休日夜間急病診療所は、市民にとって大切な医療機関です。

お伺いいたします。

工事の進捗状況をお聞かせください。また、市民の皆様への周知の仕方をお聞かせください。

救急安心センター事業#7119についてお伺いいたします。

兵庫県の令和7年当初予算主要施策ですが、高齢化の進展等により増加し続ける緊急需要等に適切に対応するため救急安心センター事業#7119の全県展開を実施するとあります。

お伺いいたします。

県と参画市町で設定した協議会を設置するとのことですが、負担割合は県と本市で半分ずつです、実施することにより、予算の問題等がありますが、本市の考えをお聞かせください。

町会灯助成事業についてお伺いします。

LED化助成事業・電気代助成事業は、令和8年度までの継続事業です。

お伺いいたします。

本年度の予定灯数が、減っている原因は何なのか、本市の考えをお聞かせください。